

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
専門学校 東萌ビューティーカレッジ	平成10年3月30日	吉井さとみ	〒343-0851 埼玉県越谷市七左町1-337-3 (電話) 048-990-0206			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人小池学園	昭和56年10月31日	理事長 小池千代子	〒343-0851 埼玉県越谷市七左町3-89-2 (電話) 048-987-2345			
目 的	美容に関する専門的なトータルファッションの技術・知識等の学科を総合的効率的に教育し、 知性と教養のある近代的美容師の育成を目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
衛生	専門課程	美容科	2年(昼)	2010単位時間 (又は単位)	平成13年文部科学省 告示24条	-
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	720単位時間 (又は単位)	- 単位時間 (又は単位)	- 単位時間 (又は単位)	1290単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	66人	4人	8人	12人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有) (無) ■成績評価の基準・方法について 定期試験結果、検定試験結果 に基づき評価を行う。	
長期休み	■学年始め：4月1日 ■夏 季：8月1日～31日 ■冬 季：12月27日～1月5日 ■学 年 末：3月31日			卒業・進級条件	出席時間数が規定時数を超えて いること。 定期試験、検定試験に合格して いること。	
生徒指導	■クラス担任制 (有) (無) ■長期欠席者への指導等の対応 本人及び保護者への連絡、面談指導			課外活動	■課外活動の種類 技術大会、校外研修、海外研修 等 ■サークル活動 (有) (無)	
就職等の状況	■主な就職先、業界等 美容業界、美容サロン、 エステティックサロン ■就職率 ^{※1} 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} 100%			主な資格・検定	美容師国家試験受験資格 メイクアップ検定(2, 3級) サブス接遇検定(準1級、2級)	

中途退学の現状	<p>■中途退学者 12名 ■中退率 16.2%</p> <p>平成28年4月1日在学者 74名（平成28年4月入学者を含む） 平成29年3月31日在学者 62名（平成29年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 進路変更、経済的理由</p> <p>■中退防止のための取組 担任面談、保護者面談を行う。</p>
ホームページ	URL:http://www.toho-beauty.jp

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

本校のカリキュラム編成に当たり、企業、業界団体等との密接な連携により、必要となる最新の知識、技術、技能を反映させるため、企業、業界団体等からの意見を十分に活かし、カリキュラムの改善等の教育課程の編成を定期的に行うことを基本方針とする。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成29年5月1日現在

名 前	所 属
横田 剛一	株式会社エル 代表取締役
横田 玲子	株式会社ティージーエスプランニング 取締役
栗本 浩二	埼玉東萌短期大学 幼児保育学科 教授
吉井 さとみ	専門学校東萌ビューティーカレッジ 校長
大塚 日富美	専門学校東萌ビューティーカレッジ 学生指導部長・美容技術主任
大場 利良	専門学校東萌ビューティーカレッジ 教務主任
渡邊 史	専門学校東萌ビューティーカレッジ 事務局

(開催日時)

第1回 平成29年9月19日(火) 13:30~14:30 (予定)

第2回 平成30年2月20日(火) 13:30~14:30 (予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

最新の技術や、業界の動向などを踏まえた実践的な技術・技能を企業の派遣講師から指導または助言を仰ぎ、派遣講師による授業および教員による指導を行うことを基本方針とする。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
美容ケア	メイクアップの基本技術の習得及び日本メイクアップ連盟のメイクアップ技能検定2~3級取得を目的とする。	株式会社トニーズコレクション
美容サロンワーク	実際のサロンワークと同様に接客しながら美容の仕事学ぶ	有限会社デ・ドール

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

最新の美容技術や業界の動向などを把握し、教育課程に基づき必要な研修を実施する。
また、教員の指導力及び質の向上を目的とした研修を受講する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成29年5月1日現在

名 前	所 属
横 田 剛 一	株式会社エル 代表取締役
野 呂 し の ぶ	武蔵野星城高等学校校長
綿 貫 聖 子	卒業生代表
岡 部 クニ子	地域住民代表
大場 利良	専門学校東萌ビューティーカレッジ 教務主任
渡 邊 史	専門学校東萌ビューティーカレッジ 事務局

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL:<http://www.toho-beauty.jp>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.toho-beauty.jp>

授業科目等の概要

(衛生専門課程美容科) 平成 26 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			関係法規・制度	美容師の業務に関係する衛生法規・制度について正しい知識を習得する。美容師法の目的と意義、免許制度・免許の手続き等を理解する。	1 前	30	1	○		
○			衛生管理	公衆衛生の歴史と社会全体の公衆衛生、疾病の予防、感染症と社会生活、美容の業務と消毒の重要性、適用上の注意等を学ぶ。	1 通 2 前	90	3	○		
○			美容保健	人体の解剖学的名称、人体の各器官、系統の構造、皮膚と付属機関の構造と機能等を学ぶ。	1 通 2 通	120	4	○		
○			美容の物理・化学	熱伝導、光、電磁気など物理の基本原則について、美容で使用する器具等、最新の器具機械等の使用上の注意などを学ぶ。	1 後 2 通	90	3	○		
○			美容文化論	美容文化史、美容ファッションの変遷、流行の意義と役割、美容デザイン、造形の原理、造形と心理、服飾の原理、服飾の意義について理解する。	1 後 2 通	90	3	○		
○			美容技術理論	美容器具の正しい取扱い方を理解する。基礎技術の意義を学ぶ。頭部技術の目的、種類、特徴、技術上の注意について学ぶ。	1 通 2 通	120	4	○		
○			美容運営管理	経営管理の基本的事項、経営戦略、労務管理、接客法、マネージメント等について学ぶ。	1 後 2 後	60	2	○		
○			美容実習	美容基礎技術の実習、頭部技術実習、特殊技術実習、総合技術実習など美容に係る基本を学ぶ。	1 通 2 通	810	27			○
合計					8 科目	1410 単位時間 (単位)	

授業科目等の概要

(衛生専門課程美容科) 平成 26 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
	○		人文科学	接客についてのロールプレイングやマナー、一般常識を学ぶ。	1 通 2 前	120	4	○	△	
	○		美容サロンワーク	実際のサロンワークと同様に接客をしながら美容室の仕事を学ぶ	1 通 2 前	90	3			○
	○		美容ケア	美容に関するケアを学ぶ。実践的なネイルケアからデザインネイル、スキンケアからメイクなど目的に応じたケアを学ぶ。	1 前 2 前	90	3			○
	○		創作美容	習得した美容の基礎技術をフルに使い、デザインを創作する。	1 後 2 前	60	2			○
	○		美容モード理論	ヘアスタイルの流行を学ぶ。流行で変化するモードの理論と技術を共に学ぶ。	1 通 2 通	150	5			○
	○		美容総合技術	美容全般の基本技術や知識、接客等の美容師力を学ぶと共に、体の内面に目を向けた「美」と「健康」に関わる総合的な美容学を学びます。	2 通	90	3			○
合計				6 科目	600 単位時間 (単位)		

【選択必修について】

本校の授業科目における「選択必修科目」は、平成 20 年 3 月 25 日 健発第 0325010 号 厚生労働省健康局長通知「美容師養成施設の教科課程の基準の運用」1 の (2) のアにより、必修の教科科目として設定することになっており、本校学生は必ず履修しなければならない必修科目となっております。